

世界のYAMAMURAへ

—心と技術を伝えたい—

株主のみならずへ

第89期

決算ご報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

日本山村硝子株式会社
http://www.yamamura.co.jp/

株主のみならずへ

決算ご報告および期末配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第89期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。

また、「第89期末配当金のお支払い」に関する書類も同封させて頂きました。

ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬 具
平成30年6月



代表取締役
社長執行役員

山村幸治

役員 (平成30年6月27日現在)

■取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役社長執行役員	山村 幸治
常務取締役常務執行役員	上高 雄樹 カンメグル山形/パケージング社駐在(同社取締役副社長)
取締役常務執行役員	小林 史吉 環境室 コーポレート本部 研究開発センターおよびニューガラスカンパニー管掌
取締役執行役員	明神 裕 ガラスびんカンパニー社長

■監査等委員である取締役

取締役常勤監査等委員	谷上 嘉規
取締役監査等委員(社外)	井上 善雄 株式会社田川製紙所代表取締役社長(独立役員)
取締役監査等委員(社外)	高坂 佳郁子 弁護士(独立役員)
取締役監査等委員(社外)	泉 豊祿 ハフスイテック株式会社代表取締役社長(独立役員)

執行役員

執行役員	鳥居 豊彦 監査等委員会室長
執行役員	井料田 保二 コーポレート本部長
執行役員	神田 信一 ガラスびんカンパニー副社長 営業本部長
執行役員	山村 昇 プラスチックカンパニー社長
執行役員	田口 智之 ニューガラスカンパニー社長
執行役員	植田 光夫 山村倉庫株式会社代表取締役社長

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	300,000千株
発行済株式の総数	111,452千株
株主数	8,708名
単元株式数	1,000株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	8,313名	39,169千株
金融機関	34	28,275
事業会社・その他法人	261	21,585
外国法人・外国人	99	15,914
自己株式	1	6,506
合計	8,708名	111,452千株



買取・買増制度をご利用ください



会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商号	日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
本社所在地	関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
東京本社	東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
	新宿グリーンタワービル20階
創業	大正3年4月5日
設立	昭和16年12月11日
資本金	140億7,496万5,448円
従業員数	832名
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,216千株	9.73%
日本山村硝子取引先持株会	4,467	4.26
株式会社三井住友銀行	4,252	4.05
旭硝子株式会社	3,836	3.66
クリアストリーム パンキング エス エー	3,250	3.10
山村幸治	3,049	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,962	2.82
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.81
日本生命保険相互会社	2,842	2.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,828	2.69

(注)1.当社は、平成30年3月31日現在、自己株式6,506千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数には、信託業務に係る持株数が含まれております。
4.株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で、商号を株式会社三菱UFJ銀行に変更しております。
5.所有株式数は表示単位で切り捨て表示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

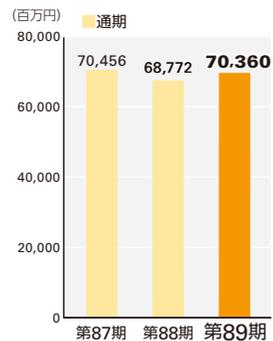
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



この決算ご報告はFSC®認証紙とベジタブルインキを使用して印刷しております。

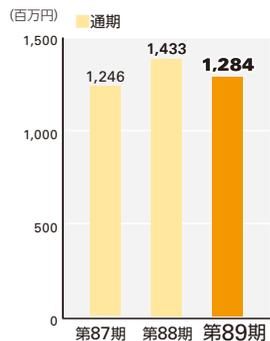
売上高 70,360百万円

ガラスびん関連事業では秦皇島方圓包装玻璃有限公司のガラスびん販売やエンジニアリングカンパニーの海外向け売上が増加しました。さらにプラスチック容器関連事業では飲料用キャップの出荷が増加したこと、物流関連事業では新規事業を立ち上げたこと、ニューガラス関連事業ではニューガラスカンパニーの太陽電池用ガラス、電子部品用ガラスや自動車部品用ガラスの出荷が堅調に推移したこと等により、売上高は70,360百万円(前期比2.3%増)となりました。



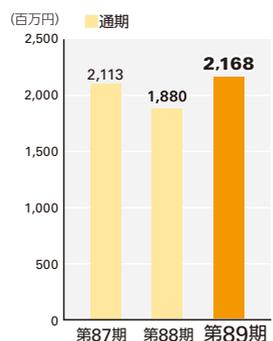
営業利益 1,284百万円

ガラスびん関連事業ではガラスびんカンパニーの修繕費等の費用減、ニューガラス関連事業では増収による増益要因はありましたが、ガラスびん関連事業では国内燃料価格が上昇したことや販売の品種構成による利益率の低下、秦皇島方圓包装玻璃有限公司で中国における環境規制強化への対応に伴う費用が増加したこと等により、営業利益は1,284百万円(前期比10.4%減)となりました。



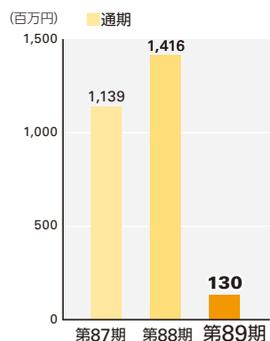
経常利益 2,168百万円

持分法による投資利益は1,293百万円(前期比13.7%増)と増益となり、経常利益は2,168百万円(前期比15.3%増)となりました。



親会社株主に帰属する当期純利益 130百万円

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益を計上し、特別損失にのれん償却額や支払補償金を計上したことにより130百万円(前期比90.8%減)となりました。

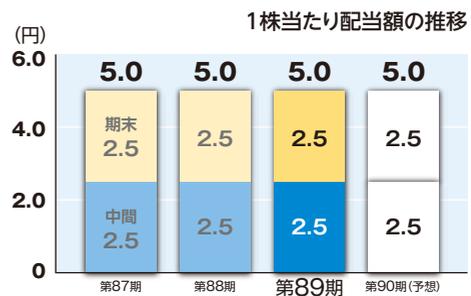


利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずみなさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成30年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせ、通期で5.0円とさせていただきます。

次期の配当につきましては、上記の方針に沿い中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせて、通期で5.0円とさせていただきます予定でございます。



2017~2019年度の中期経営計画における経営方針の一つである「ニューガラス事業の拡大」をさらに推進していきます。

株式会社トウチュウと合併会社設立を合意

株式会社トウチュウと、半導体向けをはじめとする機能性フィラー事業における合併会社「株式会社ワイティエフ」を設立することで合意しました。

鋳物・ガラス・窯業用珪砂の大手であるトウチュウ社が持つノウハウと、当社が持つ粉碎加工技術を融合し、珪砂を原料とする半導体向けフィラーの開発に成功しました。珪砂を原料とすることで、従来の珪石よりも原料コストが低減でき、また珪砂は世界的にも埋蔵量が潤沢であることから原料供給も安定しています。

台湾・中国砂輪企業股份有限公司(KINIK社)と合併契約を締結

台湾の中国砂輪企業股份有限公司と光通信市場向けレンズ事業に関する合併会社設立について契約を締結しました。

光通信市場は、データ通信量の増大に伴い、今後世界的にますますの市場拡大が見込まれており、主にアクセス網で使用される球面レンズに強みを持つ当社グループと、大容量通信で使用される非球面レンズに強みを持つKINIK社が、双方が保有する技術力と販売力を結集し、強化することが事業拡大に有効であると考え、契約締結に至ったものです。

「Oisix 農家・オブザイヤー 2017-2018」銅賞受賞

オイシックスドット大地株式会社主催の「農家(ノーカー)・オブザイヤー」で、当社生産の「かがやケール」が受賞しました。昨年以降、サプライヤー数が約2倍(2,000軒超)となる中で2年連続の受賞を果たしました。

今後もさらなる品質向上や新しい商品実現を目指し、技術開発を進め事業拡大を図ります。

また5月下旬より、阪神百貨店にて自社ブランドの野菜「きらきらベジ」の販売を開始しています。ぜひご賞味ください。



関西プラントで太陽光発電設備を導入

プラスチックカンパニー関西プラントにおいて太陽光発電設備を設置し、2月22日に竣工式が行われました。

設備は太陽光パネル3,744枚、合計1,030kWの発電能力を持ち、平成29年度二酸化炭素排出対策事業費補助金(再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業)の事業では最大規模の案件となります。

関西プラントの電力使用量の約12.6%にあたる量の発電を見込んでいます。

